



八王子市教育委員会・都立特別支援学校共催

平成30年度「交流及び共同学習(副籍)実践報告会」レポート

11月13日(火)八王子市教育センターにて、「交流及び共同学習(副籍)実践報告会」(以下、実践報告会)が開催されました。これは、副籍交流の具体的な実践事例の発表や、小グループでの情報交換により、副籍交流の推進を図る取組です。

実践報告会には、小学校32校37名、中学校12校15名、特別支援学校7校14名、在籍児童・生徒・保護者5名、八王子教育委員会6名の合計77名が参加しました。

前半の実践報告では下記のような報告がありました。

(1) 八王子市立高倉小学校と都立八王子特別支援学校の直接交流の事例報告

特別支援学校の児童が、少しずつ地域の小学校や交流クラスの担任に慣れ、交流内容を深めている取組について報告しました。昨年度は放課後に交流クラスの担任に手紙を届ける交流を行い、今年度からは帰りの会に参加し、大勢の友達が見守る中で手紙を届け、質問に答えるなど直接的に交流する様子を報告しました。



(2) 八王子市立第七中学校と都立八王子東特別支援学校の直接交流の事例報告

肢体不自由があり車椅子を使用している生徒が、地域に暮らす中学生と共に授業に参加する取組について紹介されました。理科の実験で班の友達と盛り上がった話や、書写の授業に参加した様子について交流をしている生徒自身が報告をしました。

(3) 八王子市立陶鎔小学校と都立立川ろう学校の直接交流の事例報告

聴覚障害のある児童が、帰りの会に参加する取組を報告しました。交流クラスの代表児童とハイタッチをし、手話で挨拶をしている様子が映像とともに紹介されました。ハイタッチの様子を見ていた他の児童から口々に「いいなあ、私もしたい!」といった積極的に関わろうとする児童の発言が見られました。



後半は、情報交換会が行われました。校長・副校長・特別支援教育コーディネーター・担任・保護者等、副籍交流にかかわるいろいろな立場の方たちでグループをつくり、それぞれの経験や考え、思いを話し合いました。具体的な事例を通して、それぞれ副籍交流の意義や共生社会の形成に向けた思いを新たにすることができました。

副籍交流を円滑に進めるための「理解推進出前授業」

副籍交流は、地域指定校との事前打合せを行い、それぞれのペースで交流を行っています。

直接交流、間接交流いずれの実施形態でも、保護者の方の御希望により、地域指定校の了承のもと今年度も「理解推進出前授業」を実施しております。これは「出前」とあるとおり、本校の特別支援教育コーディネーターが地域指定校である八王子市立の小中学校を訪問し、児童・生徒に対して障害者理解に関する授業を実施するものです。基本的な授業の構成ですが、小学校低学年を対象とした内容では、（１）本校の概要、（２）交流生徒の学校生活の様子、小学校中学年以上になると、それらに加え（３）体験活動となります。中学生向けの授業では（４）知的障害以外の障害種についても触れ、理解啓発を促しています。授業時間は、小学校低学年が約20分間、それ以外は1単位時間（小学校45分間、中学校50分間）です。

小学校1年生から中学校3年生まで幅広い年齢を対象に授業を行いますので、それぞれの発達段階に応じた内容を心がけています。いずれの学年であっても、イラストや写真などを多用したスライド教材を使用することで、視覚的にも理解しやすい工夫を行っています。学校生活の様子を紹介するスライドでは、本校児童・生徒の学級担任に普段の様子や行事の様子の写真を選んでもらい、コメントを付けて表示しています。自分達の通う学校と共有する部分や異なる部分も学びながら、特別支援学校と、交流する本校児童・生徒への理解を深めてもらいます。

また、体験活動では、背中に貼られた絵を、声を使わずにお互い教え合い、同じ絵の者同士でグループを作る活動や、描かれた図を言葉だけで伝え、同じように図を再現することを試みる活動などを実施しています。どの活動も伝えようとする気持ち、理解しようとする気持ちの大切さを学び取ってもらうことをねらっています。

出前授業は、地域指定校の教員からも「分かりやすい伝え方について振り返る良い機会となった」などの感想もいただいております。今年度も共生地域の担い手を育成するために、小学校低学年の段階から、心に響く出前授業を行ってまいります。



副籍交流を円滑に進めるための、その他の取組

副籍制度自体の認知度が上がり、地域指定校の協力も随分と得られるようになってきました。しかしながら、地域指定校の保護者への理解啓発はまだまだ不十分であるとの御指摘を受ける機会がしばしばあります。そこで今年度からの新たな取組みとして、7月11日には八王子市立中学校、翌12日には中学校の、PTA連合会の理事会を訪問し、短時間ではありますが「副籍交流」についてお話をさせていただきました。副籍交流について話題となった際、PTA会長を核としてこれまで以上に御理解と御協力が得られることをねらい、八王子市内の全小・中学校のPTA会長を対象に、（１）東京都が推進する重要な教育施策であること、（２）副籍交流の実施形態の種類、（３）副籍制度は共生地域の実現を目指していること、といった内容をお伝えいたしました。また、話の後に「子供会との連携についても検討してください。」との御提案もいただきました。地域に根差す交流を推進するための一つの契機になれば幸いです。今後も継続して取り組んでいきたいと考えております。